

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)  
網干南地区

平成23年10月

兵庫県姫路市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	兵庫県	市町村名	姫路市	地区名	網干南地区			面積	606.3 ha					
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年7月～12月	交付対象事業費	2,798	国費率	0.204							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業 提案事業	事業名 道路/市道網干129号線・同316号線、地域生活基盤施設/芝生・緑地・駐車場、高次都市施設/地域交流センター 地域創造支援事業/健康増進施設整備事業、地域資源PR活動支援事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園/網干南公園、高次都市施設/健康増進施設	事業内容を精査した結果、提案事業に変更。				影響なし						
		提案事業	地域創造支援事業/コミュニティバス支援事業、レンタサイクル事業	関係者と調整がつかなかったため、交付期間内に事業を実施できず。				交通利便性が確保されなかったため、「指標2地域への回遊人数」の減少に影響するが、あほしまち交流館に観光交流機能を強化させたため、数値目標は据え置く。						
	新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設/観光交流センター	地域交流センター・あほしまち交流館整備事業に新たに観光交流センターとしての機能を追加したため追加。				観光交流機能が強化されたため、「指標2地域への回遊人数」の増加に影響するが、コミュニティバス・レンタサイクルが実現できず、交通利便性が向上されなかったため、数値目標は据え置く。						
		提案事業	地域創造支援事業/あほしまち交流館整備事業、網干南公園改修事業	事業内容を精査した結果、基幹事業から提案事業に変更。				影響なし						
交付期間の変更	当初 変更	平成19年度～平成21年度 平成19年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		健康増進施設の工期が延長したため、「指標1公共施設の利用人数」の減少に影響するが、具体的な開館時期がわからないため、数値目標は据え置く。									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	指標1	公共施設の利用人数	人/年	298,000	H17	548,000	H23	-	35,200	△	あり なし	● ●	あほしまち交流館(地域交流センター)や網干環境楽習センター(啓発管理施設)等により公共施設の利用人数は増加したが、芝生広場や健康増進施設の整備が遅れが数値目標未達成の要因となっている。	平成25年3月
	指標2	地域への回遊人数	人/年	3,500	H17	16,000	H23	-	3,900	△	あり なし	● ●	あほしまち交流館(観光交流センター)や網干環境楽習センター(啓発管理施設)やエコパークあほしまちへの案内看板の設置(地域資源PR活動支援事業)による効果はあったが、芝生広場や健康増進施設の整備が遅れや、コミュニティバス・レンタサイクルが実施できなかったことが数値目標未達成の要因となった。	平成25年3月
	指標3	地域内におけるイベント会議開催件数	件/年	150	H17	250	H23	-	300	○	あり なし	● ●	あほしまち交流館(地域交流センター)が網干地域の拠点施設となり、地域住民が主体となって、多くのイベントや会議が開催された。	平成25年3月
	指標4									あり なし あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	その他の数値指標1	観光ボランティア人数	人	0	H17						●	NPO法人あほしまちコミュニケーションが観光ボランティアの育成にも取り組んでおり、地域の回遊人数の増加だけでなく、まちづくりの担い手づくりにもつながっている。	平成25年3月	
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	地域住民から構成されるまちづくり組織(NPO法人あほしまちコミュニケーション)が設立し、あほしまち交流館や新美化センター内の啓発管理施設(網干環境楽習センター)の管理運営を行うなど、まちづくりの活性化につながっている。また当組織は、イベント・会議の開催だけでなく、ボランティアガイドを育成するなど、新たなまちづくりの担い手の育成にも積極的に取り組んでいる。													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし						
	住民参加プロセス	新美化センター建設協議会 網干地区活性化ワーキングによるあほしまち交流館を核とした地域活性化につながる取り組み		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		今後も地域住民が主体となった、地域活性化につながる取り組みを推進していく。				
持続的なまちづくり体制の構築	あほしまち交流館の運営組織の設立(NPO法人あほしまちコミュニケーションの設立)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		NPO法人あほしまちコミュニケーションの主体的な活動を推進していく。					

## 様式2-2 地区の概要


### 網干南地区(兵庫県姫路市) 都市再生整備計画事業の成果概要

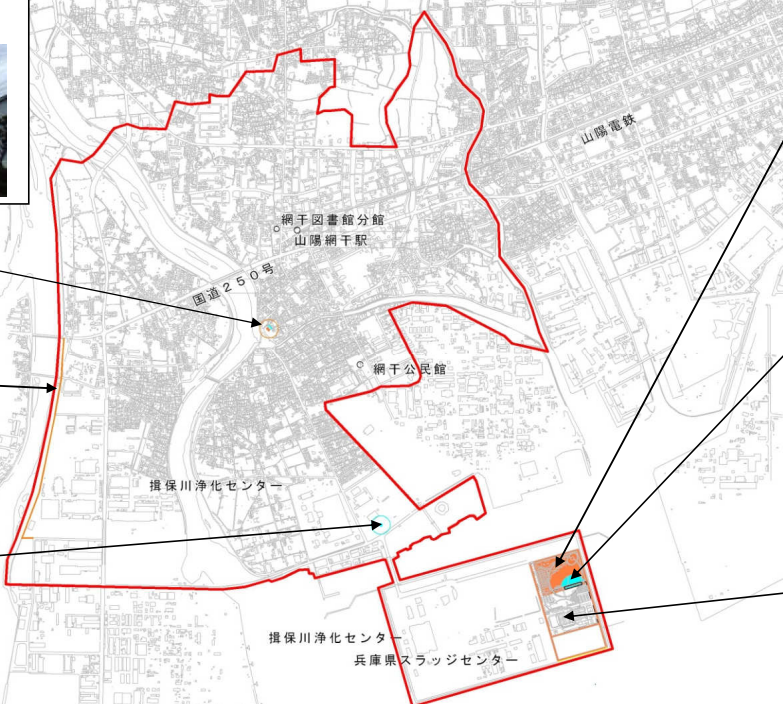
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地域住民とともに、地域資源を活用したまちづくりを推進し、地域の活性化を図る 1. 集客能力の高い施設を整備し、他地域からの来訪者の増加を図る 2. 地域資源を活用した回遊ルートを整備し、回遊人口の増加と地域の賑わいを創出する 3. 地域コミュニティの拠点を整備し、地域住民のまちづくりを支援する	公共施設の利用人数	単位:人/年	298,000	H17	548,000	H23	35,200	H23※
	地域への回遊人数	単位:人/年	3,500	H17	16,000	H23	3,900	H23※
	地域内におけるイベント会議開催件数	単位:件/年	150	H17	250	H23	300	H23※
								※見込み値

**■基幹事業 高次都市施設**  
 地域交流センター、観光交流センター  
**□提案事業 地域創造支援事業**  
 あぼしまち交流館整備事業



**□提案事業 地域創造支援事業**  
 地域資源PR活動支援事業







凡例  
■ 基幹事業  
■ 提案事業  
 関連事業

1:20000


**■基幹事業 地域生活基盤施設**  
 芝生・緑地・駐車場




**□提案事業 地域創造支援事業**  
 健康増進施設整備事業




**○関連事業**  
 ごみ焼却施設整備事業、  
 再資源化施設整備事業、  
 啓発管理施設整備事業



**■基幹事業 道路**  
 市道網干129号線・同316号線



**□提案事業 地域創造支援事業**  
 網干南公園相撲場改修事業



**まちの課題の変化**

・あぼしまち交流館や網干環境楽習センター(啓発管理施設)が整備され、来訪者も増加し、地域の活性化につながった。現在、芝生広場や健康増進施設の整備が進められているため、これら施設の竣工後は、来訪者も増加することが予測されるため、さらに地域が活性化することが期待される。  
 ・エコパークあぼしまへの無料シャトルバスが運行されるようになった。今後は、エコパークあぼしまへの来訪者を地域内の観光資源に回遊させるため、引き続き無料シャトルバスを運行するとともに、来訪者が楽しんでまちを回遊できるような仕組みづくりが求められる。  
 ・地域住民のまちづくり活動拠点となる、あぼしまち交流館が整備された、この施設の整備にあわせ、地域住民等もNPO法人を設立し、積極的にまちづくり活動を展開している。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・地域住民と連携した施設PR、イベントの開催、施設の維持管理の推進
- ・NPO法人あぼしまちコミュニケーションなど、地域住民のまちづくり活動の推進
- ・無料シャトルバスの運行
- ・地域の伝統的な行事・祭、名所旧跡を活用した観光資源づくり
- ・観光ボランティアガイドの育成
- ・回遊ルートの設定